



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 田岡化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4113 URL https://www.taoka-chem.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩崎 明
 問合せ先責任者 (役職名) 事業支援室部長 (氏名) 田中 啓之 (TEL) 06-7639-7400
 定時株主総会開催予定日 2026年6月29日 配当支払開始予定日 2026年6月10日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	33,192	10.9	2,046	8.4	2,096	6.7	1,533	3.7
2025年3月期	29,930	4.9	1,887	75.6	1,964	72.0	1,478	80.2

(注) 包括利益 2026年3月期 1,624百万円(5.0%) 2025年3月期 1,546百万円(72.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	107.00	—	8.1	6.8	6.2
2025年3月期	103.18	—	8.3	6.5	6.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	30,928	19,550	63.2	1,364.38
2025年3月期	30,407	18,499	60.8	1,291.05

(参考) 自己資本 2026年3月期 19,550百万円 2025年3月期 18,499百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,059	△925	△1,219	2,937
2025年3月期	4,371	△1,418	△997	2,982

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 —	円 銭 22.00	円 銭 31.00	百万円 444	% 30.0	% 2.5
2026年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00	516	33.6	2.7
2027年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00		34.4	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,500	△1.1	170	△87.9	180	△87.4	130	△87.6	9.07
通期	35,000	5.4	320	△84.4	350	△83.3	250	△83.7	17.45

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	14,440,000株	2025年3月期	14,440,000株
2026年3月期	111,375株	2025年3月期	111,280株
2026年3月期	14,328,632株	2025年3月期	14,328,737株

参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	30,280	12.8	1,808	12.4	1,877	8.7	1,377	4.4
2025年3月期	26,836	3.4	1,608	88.6	1,727	82.2	1,320	91.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	96.13		—					
2025年3月期	92.12		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2026年3月期	29,602		18,618		62.9	1,299.34		
2025年3月期	29,258		17,790		60.8	1,241.59		

(参考) 自己資本 2026年3月期 18,618百万円 2025年3月期 17,790百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報および合理的であるとす
る一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は
様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたって
の事項等については添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	13
(重要な後発事象の注記)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の世界経済は、米国の不透明な通商政策に対する懸念が見られたものの、世界的な生成AI関連需要の拡大に伴う活発な設備投資が経済をけん引しました。一方で地政学リスクの長期化や中国の景気減速、欧米での金融政策の先行き不透明感等から、国や地域により景況感にばらつきが見られる動きとなりました。国内においては、賃上げの浸透や設備投資の回復が日本経済を下支えした一方で、米国通商政策による輸出の混乱や、円安等による物価上昇により、景気は総じて緩やかな回復基調に留まりました。

当連結会計年度の当社グループの売上高は、樹脂原料の出荷増加が寄与し331億92百万円（前連結会計年度比32億62百万円、10.9%増）となりました。損益面におきましては、営業利益は20億46百万円（同1億59百万円、8.4%増）、経常利益は20億96百万円（同1億32百万円、6.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は15億33百万円（同55百万円、3.7%増）となりました。

セグメント別の売上高の概況

区 分	前連結会計年度		当連結会計年度		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品事業	13,233	44.2	16,535	49.8	3,302	25.0
機能材事業	3,476	11.6	3,422	10.3	△54	△1.6
樹脂添加剤事業	12,603	42.1	12,676	38.2	72	0.6
化学工業セグメント	29,312	97.9	32,632	98.3	3,320	11.3
化学分析受託事業	618	2.1	560	1.7	△59	△9.5
合 計	29,930	100.0	33,192	100.0	3,262	10.9

<化学工業セグメント>

当セグメントの売上高は、326億32百万円となり、前連結会計年度と比べて33億20百万円の増収となりました。

(精密化学品事業)

医薬品中間体の販売は減少しましたが、樹脂原料の販売の増加により、売上高は165億35百万円となり、前連結会計年度と比べて33億2百万円の増収となりました。

(機能材事業)

ゴム薬品の販売の減少により、売上高は34億22百万円となり、前連結会計年度と比べて54百万円の減収となりました。

(樹脂添加剤事業)

可塑剤の販売が増加したため、売上高は126億76百万円となり、前連結会計年度と比べて72百万円の増収となりました。

<化学分析受託事業セグメント>

当セグメントの売上高は、土壌調査や石綿分析などで減少したため、5億60百万円となり、前連結会計年度と比べて59百万円の減収となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、売掛金や商品及び製品の増加等により、前連結会計年度末と比べて11億34百万円増加し、173億60百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて6億14百万円減少し、135億67百万円となりました。

この結果、当連結会計年度末の総資産額は309億28百万円となり、前連結会計年度末と比べて5億20百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、買掛金等の増加により、前連結会計年度末と比べて3億52百万円増加し、86億34百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少により、前連結会計年度末と比べて8億82百万円減少し、27億44百万円となりました。

この結果、当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末と比べて5億30百万円減少し、113億78百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産額は、前連結会計年度末と比べて10億51百万円増加し、195億50百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度に比べて45百万円減少し、29億37百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益20億60百万円、減価償却費18億21百万円でしたが、棚卸資産の増加5億87百万円や法人税等の支払額6億19百万円などにより20億59百万円の収入（前連結会計年度は43億71百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、9億25百万円の支出（前連結会計年度は14億18百万円の支出）となりました。主なものは、有形固定資産取得による支出9億18百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、12億19百万円の支出（前連結会計年度は9億97百万円の支出）となりました。主なものは、長期借入金の返済による支出6億20百万円、配当金の支払額5億73百万円等です。

(4) 今後の見通し

当社グループの業績は、農薬中間体の販売増による増収が見込まれる一方で、樹脂原料における2025年度後半からの出荷の減少により、2026年度は大幅な減益の見込みです。昨今の中東情勢の混乱も踏まえ、当社は以下のとおり取り組みを進めてまいります。

- ・新規開発品・受託製品の早期導入を促進し、工場の稼働率向上を図ります。
- ・原料価格が大幅に上昇するとともに供給制限をも強いられる中、顧客需要への影響を最小限に抑制する最適生産の維持に努めます。
- ・原燃料価格に応じ、タイムリーな販売価格への反映に努めます。

当社グループは、引き続き中期経営計画「TCG as one 2027」の下、収益構造の底上げを追求し、全ての事業においてのROIC・営業利益率の改善を目指し、企業価値の持続的向上に取り組んでまいります。

2026年度の連結業績につきましては、売上高350億円、営業利益3億20百万円、経常利益3億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億50百万円を予想しています。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいていますが、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,182	1,387
受取手形	64	79
売掛金	5,526	6,077
商品及び製品	4,862	5,221
仕掛品	157	88
原材料及び貯蔵品	2,320	2,615
預け金	1,800	1,550
その他	315	343
流動資産合計	16,226	17,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,824	11,224
減価償却累計額	△6,381	△6,642
建物及び構築物（純額）	3,442	4,582
機械装置及び運搬具	24,242	27,796
減価償却累計額	△21,375	△22,298
機械装置及び運搬具（純額）	2,867	5,499
土地	1,221	1,221
建設仮勘定	4,522	149
その他	3,378	3,534
減価償却累計額	△2,474	△2,668
その他（純額）	905	866
有形固定資産合計	12,957	12,317
無形固定資産		
ソフトウェア	25	65
その他	15	14
無形固定資産合計	40	79
投資その他の資産		
投資有価証券	88	122
関係会社株式	84	84
繰延税金資産	958	922
その他	55	44
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,185	1,172
固定資産合計	14,181	13,567
資産合計	30,407	30,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,951	5,241
1年内返済予定の長期借入金	620	620
未払法人税等	412	312
賞与引当金	511	494
災害損失引当金	8	—
その他	1,781	1,968
流動負債合計	8,282	8,634
固定負債		
長期借入金	870	250
退職給付に係る負債	2,433	2,194
その他	323	300
固定負債合計	3,626	2,744
負債合計	11,908	11,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572	1,572
資本剰余金	1,009	1,009
利益剰余金	15,673	16,634
自己株式	△40	△40
株主資本合計	18,215	19,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	71
為替換算調整勘定	144	176
退職給付に係る調整累計額	93	128
その他の包括利益累計額合計	285	375
純資産合計	18,499	19,550
負債純資産合計	30,407	30,928

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	29,930	33,192
売上原価	24,439	27,422
売上総利益	5,491	5,769
販売費及び一般管理費	3,604	3,723
営業利益	1,887	2,046
営業外収益		
受取利息	7	14
受取配当金	15	20
為替差益	25	—
不用品処分益	17	20
その他	23	17
営業外収益合計	86	71
営業外費用		
支払利息	6	4
為替差損	—	4
支払補償費	—	9
租税公課	—	3
その他	3	2
営業外費用合計	9	21
経常利益	1,964	2,096
特別利益		
災害保険金	106	—
特別利益合計	106	—
特別損失		
固定資産除却損	19	35
災害による損失	87	—
特別損失合計	107	35
税金等調整前当期純利益	1,963	2,060
法人税、住民税及び事業税	500	518
法人税等調整額	△15	9
法人税等合計	485	527
当期純利益	1,478	1,533
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,478	1,533

連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	1,478	1,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	23
為替換算調整勘定	45	32
退職給付に係る調整額	23	35
その他の包括利益合計	68	91
包括利益	1,546	1,624
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,546	1,624
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
当期首残高	1,572	1,009	14,453	△40	16,994
当期変動額					
剰余金の配当			△258		△258
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,478		1,478
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,221	△0	1,221
当期末残高	1,572	1,009	15,673	△40	18,215

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	48	99	70	217	17,211
当期変動額					
剰余金の配当					△258
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,478
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	0	45	23	68	68
当期変動額合計	0	45	23	68	1,288
当期末残高	48	144	93	285	18,499

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,572	1,009	15,673	△40	18,215
当期変動額					
剰余金の配当			△573		△573
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,533		1,533
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	960	△0	960
当期末残高	1,572	1,009	16,634	△40	19,175

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	48	144	93	285	18,499
当期変動額					
剰余金の配当					△573
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,533
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	23	32	35	91	91
当期変動額合計	23	32	35	91	1,051
当期末残高	71	176	128	375	19,550

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,963	2,060
減価償却費	1,487	1,821
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	65	△34
受取利息及び受取配当金	△21	△34
支払利息	6	4
固定資産除却損	19	35
災害による損失	87	—
災害保険金	△106	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△53	△562
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,059	△587
仕入債務の増減額 (△は減少)	607	278
その他	△489	△326
小計	4,624	2,656
利息及び配当金の受取額	21	34
利息の支払額	△6	△4
災害損失の支払額	△65	△8
災害保険金の受取額	106	—
法人税等の支払額	△309	△619
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,371	2,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,400	△918
無形固定資産の取得による支出	△6	△2
その他	△11	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,418	△925
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100	—
長期借入金の返済による支出	△620	△620
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△258	△573
リース債務の返済による支出	△19	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△997	△1,219
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	40
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,010	△45
現金及び現金同等物の期首残高	972	2,982
現金及び現金同等物の期末残高	2,982	2,937

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社の報告セグメントは、精密化学品、機能材、樹脂添加剤の製造販売を行う「化学工業」および環境分析と材料分析を行う「化学分析受託事業」を報告セグメントとしています。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一です。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	化学工業	化学分析受託事業			
売上高					
外部顧客への売上高	29,312	618	29,930	—	29,930
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	75	75	△75	—
計	29,312	693	30,005	△75	29,930
セグメント利益	1,864	23	1,887	1	1,887
セグメント資産	30,198	122	30,319	88	30,407
その他の項目					
減価償却費	1,487	—	1,487	—	1,487
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	1,130	—	1,130	—	1,130

(注) 1 調整額は以下の通りです。

(1) 「セグメント利益」の調整額1百万円は、セグメント間取引の消去に伴う調整額です。

(2) 「セグメント資産」の調整額は連結会社での長期投資資金（投資有価証券）88百万円です。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	化学工業	化学分析受託事業			
売上高					
外部顧客への売上高	32,632	560	33,192	—	33,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	82	82	△82	—
計	32,632	642	33,274	△82	33,192
セグメント利益	2,046	0	2,047	△1	2,046
セグメント資産	30,701	105	30,806	122	30,928
その他の項目					
減価償却費	1,821	—	1,821	—	1,821
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	1,240	—	1,240	—	1,240

(注) 1 調整額は以下の通りです。

- (1) 「セグメント利益」の調整額△1百万円は、セグメント間取引の消去に伴う調整額です。
 - (2) 「セグメント資産」の調整額は連結会社での長期投資資金(投資有価証券)122百万円です。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,291円05銭	1,364円38銭
1株当たり当期純利益	103円18銭	107円00銭

(注) 1 潜在株式調整後の1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

- 2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,478	1,533
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,478	1,533
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,329	14,329

- 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	18,499	19,550
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	18,499	19,550
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	14,329	14,329

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。